

皮膚科

当科は 「身近な悩みを相談できる皮膚科」 を心がけています

皮膚科の特色

当院皮膚科は今年度は常勤医1名で診療しております。带状疱疹、蜂窩織炎などの皮膚感染症をはじめとした入院加療も可能な限り行っております。午前中は一般診療、午後に生検、小手術、足潰瘍、やけどなどの処置、その他検査などを行っております。悪性腫瘍でも悪性度の高い皮膚癌や、広範囲の植皮が必要な場合は大学病院を紹介させて頂くこともあります。

患者さんの症状によってはアトピー性皮膚炎に対するデュピクセント、JAK 阻害薬などの治療も検討させていただきます。レーザー、紫外線療法などの設備、機器はないため取り扱っておりません。

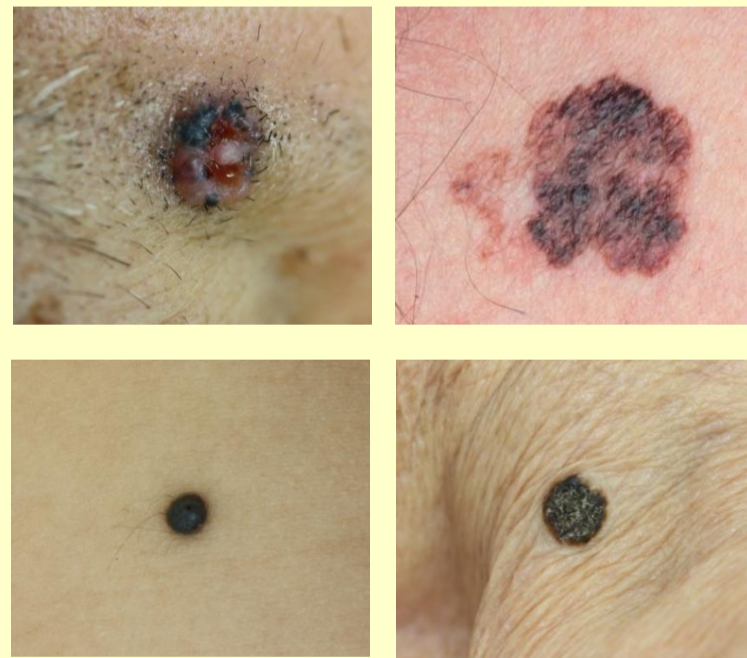
取り扱っている疾患

- ▼ アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎(いわゆるかぶれ)、乳児湿疹などの湿疹病変
- ▼ 伝染性軟属腫(水いぼ)、じんじょうせいゆう尋常性疣贅(いぼ)、たいじょうほうしん带状疱疹などのウイルス疾患
- ▼ ほうかしきえん蜂窩織炎、でんせんせいのかしん丹毒、伝染性膿痂疹(とびひ)などの細菌感染症
- ▼ 白癬(水虫)、カンジダ症などの真菌感染症
- ▼ じんじょうせいかんせん尋常性乾癬、しょうせきのうほうしょう掌蹠膿疱症
- ▼ 水疱症
- ▼ 薬剤アレルギー
- ▼ 皮膚腫瘍(良性から悪性まで)
- ▼ 食物アレルギー
- ▼ 熱傷 など

“最近ほくろがおおきくなってきたな”
“これ、皮膚がんかな…?”

患者さんから、
こんな相談を受けることはありませんか?

さて、右の4枚の写真のうち
いわゆる“ほくろ”はどれだと思いますか?



ダーモスコピーの普及により、皮膚生検を行わなくても良性か悪性かを判断できることも多いです。こんな相談を受けられた際には、ぜひ皮膚科への受診をすすめていただけますでしょうか。

皮膚疾患は原因がなかなかわからないことも多く、経過をみながら必要な検査を行っていき、やっと診断が確定することも少なくありません。まずはお気軽にご相談いただければと思います。地域の先生方と連携を取りながら、よりよい医療を提供できるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

